

教育委員会だより

母さんの手作り芸能発表会 パワーみなぎる演技に大喝采

2月17日（日）、ジョイじょぐらの天の川ホールにおいて、恒例の「母さんの手作り芸能発表会」が行われ、およそ三百五十名の町民が訪れました。

この発表会は、活力ある町づくりと、女性同士の親睦を深めるために上ノ国町

女性団体連絡協議会（古館丸子会長）が昭和55年から開催しているもので、今年で33回目を迎えました。

初めに古館会長が、今年のメインテーマは「つながる仲間の愛」とし、「地域の人たちに楽しんで頂き、美しく元気で、毎日を通じて、美しく元気で、毎日を通じて、美しく元気で」と挨拶を行いました。

続いて工藤町長が、「手作り発表会は33回の歴史の重さがある。この町に住む人が、主役になって物事を進めることが町の活性化につながる」とお祝いの言葉を述べました。

各地区の出演者が、オープニングとして、上ノ国音頭、天の川慕情を披露しました。継続することが大変だと思いつつも、時間を

見つけ衣装を手作りしたり、練習を積み重ねて本番を迎えました。

各地区とも趣向を凝らした踊りや唄を披露し、会場と一体になり、終始和やかな雰囲気になりました。第1回目から司会を務める杉田京子さんの巧みな話術に拍手やかけ声が飛び、3部構成の手作り発表会が無事に終了しました。



オープニングを飾った上ノ国音頭



辻連協理事による第2部オープニング「青い山脈」を台唱



笑いを誘った「麦畑」



華麗に踊ったAKBの「カチューシャ」

上ノ国小学校6年生がボランティア活動

2月19日（火）、上ノ国小学校の6年生が昨年に引き続き、教育委員会でボランティア活動をおこないました。今年は、じょぐらの雪かきの他に体育館や天の川ホールの清掃も手伝ってもらいました。

また、この日は教育委員会だけでなく、上ノ国小学校舎外での雪かきや、上ノ国保育所での雪かき、保育の手伝いなど、さまざまなボランティア活動をおこなっています。

今年は昨年同様雪の量がとても多く、じょぐらの回りにはたくさんの雪が積もっていましたがみんな協力してきれいにしてくれました。天の川ホールや体育館の清掃もそれぞれ班に分かれて、一生懸命に取り組んでいました。



じょぐらの雪かき



体育館の清掃



保育の手伝い

